

TOPICS  
5社会福祉法人 風の馬  
ペガサス保育園・ペガサス第二保育園

## Fリーグの選手がフットサルを指導。

ペガサス保育園とペガサス第二保育園では、平成28年10月から、フットサル教室を始めています。講師はなんと、地元大阪のFリーグ(日本フットサルリーグ)チーム<シュライカー大阪>の選手たちです。



教室は、毎週1時間、ペガサス保育園とペガサス第二保育園で交互に開催。Fリーグで活躍する選手たちが、ボールを使った練習やゲームを通じて、園児たちにフットサルの楽しさを教えています。

お問い合わせ／TEL:072-262-3000

TOPICS  
6株式会社ユニコ  
英会話教室

## ハロウィンパーティーを楽しみました。

ペガサスグループの株式会社ユニコが、地域貢献の一貫として行っている英会話教室で、平成28年の10月26日と31日の2日間、恒例のハロウィンパーティーを開催しました。

パーティーでは、教室に通う幼稚園児や小学生が仮装して、「Trick or Treat! (お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ!)」と言ってお菓子をもらったり、ビンゴゲームなどをして、楽しい時間を過ごしました。

お問い合わせ／TEL:072-263-3001

PEGASUS  
NEWS

## ペガサスニュース

発行人／馬場武彦  
発行／社会医療法人ペガサス  
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244  
http://www.pegasasu.or.jp/  
編集／ペガサス広報委員会 編集グループ  
編集協力／HIPコーポレーション  
発行／平成28年11月29日

Vol. 73

## ペガサスから地域の皆さまへ

## リハビリテーション看護を充実させ、在宅での生活に繋げていく。

退院後の生活を見据え、患者さま一人ひとりに対応します。

リハビリテーション看護とは、リハビリテーションの機能訓練で<できた>ことを、病棟生活を通し、日常生活で<できる>ことに落とし込むこと。現在、ペガサスリハビリテーション病院では、看護師がその充実に力を注いでいます。

平成28年9月より取り組むのが、病棟リハビリテーションのリニューアルです。以前は、グループで行っていたものを、看護師が、リハビリテーション部と相談しながら、患者さまの現状と目標に合わせたメニューに変更。患者さまが今めざしているADL(日常生活動作)を獲得できるよう、個別に反復練習や、趣味を

活かした訓練を行い、ADL向上を図っています。

さらに看護師たちは、同院作業療法士が考案した<生活行為向上のためのマネジメントシート>を病棟でも活用。患者さまの生活行為の目標と現在の心身状態、そして目標達成の計画が記されたシートを各療法士と共有することで、連携を深め、患者さまが望む生活のためのプラン作成に役立てています。

患者さまにとっては、入院中のADL向上が最終目標ではなく、今、行っていることが、在宅にどう繋がるのかが大切です。そのために当院では、こうした取り組みをさらに進め、すべての職員が継続ケアの意識を持ち、患者さまの病棟での日常生活の一つひとつを、在宅での日常生活へと繋げるよう努めています。



病棟リハビリテーションの様子

## 最新のナビゲーションシステムを活用し、より良い治療を追求します。

平成28年春、馬場記念病院の脳神経外科では、手術支援用ナビゲーションシステム「StealthStation S7」を導入しました。これは、術前に撮影したCTやMRI画像を基に、手術している箇所や病変の位置を、顕微鏡の視野内やモニター画面にリアルタイムで表示するシステムのこと。病変部とその周囲を立体的に描き出すので、重要な神経や血管を避けて、安全に病変部まで至る道筋が一目でわかります。

この導入により当院では、今まで術者の経験と高度な技術によって行われていた緻密で繊細な脳神経外科の手術に、さらなる正確性が加わりました。特に脳腫瘍の手術では、必要以上に摘出



術によって行われていた緻密で繊細な脳神経外科の手術に、さらなる正確性が加わりました。特に脳腫瘍の手術では、必要以上に摘出

したり、わずかも違う場所を切除すると、術後に神経障害などを引き起こす可能性があります。ナビゲーションシステムは、高い技術力を有する医師が、神経や血管を傷つけることなく、病変部を残らず切除することをサポートしてくれます。

高度急性期能力を有し、24時間365日、救急対応可能な馬場記念病院の脳神経外科では、こうした最新医療機器を導入し、さらなる安全対策を図るだけでなく、患者さまのQOL(生活の質)を常に考えた治療を行っています。



## 登録医の先生へ 年始年末(12/31~1/3)の対応についてのご案内

先生方が、年末年始の休診中に、処置(消毒、ガーゼ・包帯交換など)や点滴・注射などが必要な患者さまには、当院が対応します。どうぞご利用ください。

対象期間：平成28年12月31日(土)～平成29年1月3日(火) 処置対応時間：午前9時～午前10時

※事前に、診療情報提供書を地域医療支援室までFAX(072-265-9134)くださいますようお願いいたします。  
お問い合わせ／TEL:072-265-9083(地域医療支援室) 緊急時は072-265-5558(代表)

ペガサス地域包括  
ケアセンター

「なんでも相談」窓口あります  
場所：馬場記念病院 総合案内横  
時間：平日9時30分～12時まで  
健康のことから在宅介護まで。  
多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。  
まずはお気軽にご相談ください。  
お問い合わせ／TEL:072-265-5558  
(担当 平岩)

## 私たちと一緒に働きましょう。

随時受付  
しています

## 介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

## 障がい者の方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり  
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃  
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ  
https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus

## ペガサスグループ 株式会社ユニコ

紙おむつの品揃えを追加。  
大幅な値下げも実施中です。  
お問い合わせ／TEL:0120-062-505

堺市  
紙おむつ  
給付券  
OK!



## 12月 ペガサスセミナー

食事を減らしているのに  
痩せないのはなぜ?

講師：馬場記念病院  
管理栄養士 橋本 唯  
日時：12月22日(木)午後2時～3時  
場所：馬場記念病院 1階ロビー

12月 ペルセウス介護  
支援セミナーあいうべ体操をして  
口呼吸から鼻呼吸へ!!

講師：堀 昌子・草野明美  
(介護福祉士)  
日時：12月22日(木)午後2時30分～  
場所：介護療養型老人保健施設  
ペルセウス 3 階食堂

12月 ペガサスセミナー  
和泉食に関する情報  
「これってホント?」

講師：介護療養型老人保健施設  
ペルセウス 栄養部  
管理栄養士 松原純子  
日時：12月22日(木)午後2時～3時  
場所：介護療養型老人保健施設エクス

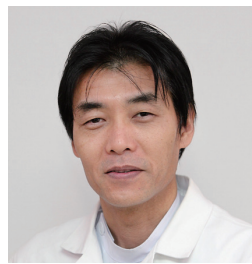
12月 ロイヤルリゾート  
健康相談会クリスマス会を  
開催します

内容：作品展、野菜即売会、バザー、  
バンド演奏、軽食屋台  
日時：12月14日(水)  
午前12時～午後4時  
場所：ペガサスロイヤルリゾート



## 高齢の女性に多い 手首の骨折。

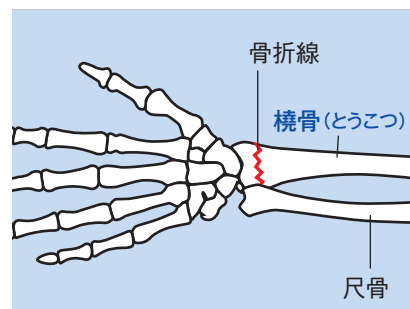
監修  
整形外科部長  
安田 匡孝



### 橈骨末端骨折とは。

橈骨(とうこつ)とは、肘から手首までの2本の骨のうち、親指側の太い骨のこと。その橈骨の手首近くでの骨折を総称して、橈骨末端骨折といいます。＜高齢者の四大骨折＞の一つにも数えられ、年間の発生率は10万人あたり250人程度。女性の方が男性よりも3倍ほど多く、特に60～70歳代での発生率が高くなっています。

骨折は、主に転んで手をついたときに起こり、手のつき方、骨折線の入り方によって、さまざまな骨折のタイプに分類されます。



橈骨末端骨折

### 骨粗しょう症が危険因子に。

橈骨末端骨折を引き起こす最大の要因が、骨密度の減少です。この骨密度が、若い人の70%未満の場合(骨折した場合は80%未満)、骨粗しょう症と診断されます。

骨粗しょう症とは、骨の強度が低下し、骨折しやすくなる病気のこと。患者の8割が女性であり、60代女性の3人に1人、70代女性の2人に1人が、骨粗しょう症の可能性があるとされています。橈骨末端骨折の患者層と非常に似通っているため、骨粗しょう症と橈骨末端骨折の間には、深い関係があると指摘されています。

骨粗しょう症にならないためには、食事や運動などの生活習慣の改善が効果的。骨粗しょう症の発症を防ぎ、骨密度の減少を防ぐことで、橈骨末端骨折のリスクを減らすことができます。

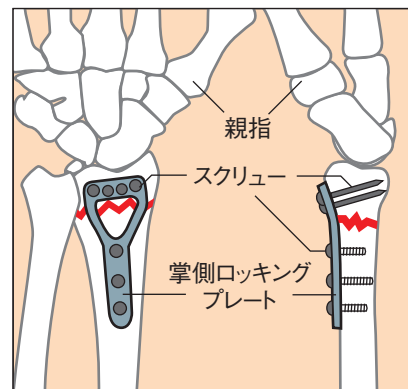
### 橈骨末端骨折の治療方法。

診断はレントゲンとCTで行い、治

療は骨折のタイプによって、＜保存療法＞と＜手術療法＞に分かれます。骨が正常な位置にある場合などは、ギプスで固定する＜保存療法＞を行います。しかし、正常な位置に戻せないときや、戻してもすぐにずれてしまう場合は、器具で骨を固定する＜手術療法＞を行います。

手術療法は現在、下記図のような、掌側ロッキングプレートを用いた固定方法が主流です。これは、プレート(金属板)とスクリュー(ネジ)が一体化し、骨折部分を強固に固定できるもの。比較的弱い骨でも、正常な位置を良好に保てるため、以前は治療困難だった脆弱性骨折などにも対応できるようになりました。

当院には、手外科専門医が1名在籍。上記の治療法を患者さまの状態に合わせ、適切に提供しています。



ロッキングプレートを用いた固定方法(右手の場合)

## スクリーナーと呼ばれる がん診断の要。

### がん細胞を探しだし、 早期診断・治療へ繋げる。

顕微鏡を使用し、細胞を良性か悪性が見分けたり、良性細胞の中から悪性細胞(がん細胞)を見つけ出す検査を細胞病理検査といい、そのスペシャリストを＜細胞検査士＞といいます。資格は、日本臨床細胞学会と日本臨床病理学会が認定し、現在は、臨床検査技師の有資格者で、実務経験

または教育課程の要件を満たせば受験が可能。筆記試験(一次)と実技試験(二次)の合格者に授与されます。現在、ペガサスには3名が在籍しています。

「検査は、身体のさまざまな細胞を対象とするため、いくつもの分野に分かれます。得意分野をひとつでも増やせるよう、努めていきたいと思っています」。

(林 政道 臨床検査技師)

「学生時代から病理検査が好きで、



細胞検査士を志しました。検査の判断基準はめまぐるしく変わりますが、貪欲に知識を吸収し、対応したいです」。

(鎌倉貴代 臨床検査技師)

「医師の診断で、重要な役割を担うことに惹かれ、取得を決意しました。今後は、学会や勉強会に積極的に参加し、新しい知識や技術の習得に励みます」。

(皆木菜緒 臨床検査技師)



## TOPICS 1 ペガサスグループ ボランティア＜見守り隊＞

### 入居者さまを見守り、 楽しい時間(とき)を提供。

ペガサスが運営する、サービス付き高齢者向け住宅＜ペガサスロイヤルリゾート＞に、＜見守り隊＞が誕生しました。これは、ボランティアが毎日2時間程度、入居者さまを見守るもの。ペガサスロイヤルリゾート内のレストランにおいて、入居者さまがTVゲームや頭の体操などで楽しく過ごせるよう図っています。

めざすのは、入居者さまだけでなく、地域の高齢者も過ごせるような＜地域のサロン＞。高齢者が住み慣れた地域で生活を継続するための拠点として、ペガサスロイヤルリゾートを住民同士がお互いに助け合うような＜場＞にしていきたいと考えています。



**ボランティア募集中!** 介護経験なしでも大丈夫です。  
お問い合わせ／TEL:072-265-5558(担当 平岩)

## TOPICS 3 馬場記念病院 パートナー企業へ出張講座

### 馬場記念病院の医療スタッフが、 企業で働く皆さまの健康を守ります。

馬場記念病院では、年に20回程度、パートナー企業へ出張講座を行っています。これは、当院とパートナーシップを結んだ企業で、当院医療スタッフが講座を行なうもの。現在までに6つの企業で、管理栄養士や理学療法士などが、メタボ予防や腰痛予防などの講座を実施しています。この他にも、パートナー企業には、体調を崩した社員の緊急の受け入れ、外来予約・受診、健康診断など、さまざまなサービスをご用意しています。

お問い合わせ／TEL:072-265-9083(地域医療支援室)



平成28年10月7日 関西電力にて開催

## TOPICS 2 ペガサスグループ 秋祭り

### 300名を超える来場者が お祭りを楽しみました。

秋らしい陽気の平成28年10月19日、＜ペガサスロイヤルリゾート石津＞にて、秋祭りを開催しました。当日は、近隣住民の方にも多数ご来場いただき、バザー、軽食屋台、野菜即売会などが立ち並ぶ会場は、大賑わいとなりました。

ペガサスでは今回、新たな取り組みとして、法人の回復期病棟や老健施設の入院患者さまや入居者さま、約40名を招待。実際に外に出て、買い物などをしていただくことで、患者さまや入居者さまの在宅復帰、社会復帰への第一歩となるよう図りました。参加者からは、「外出は億劫だったけど、看護師さんも一緒に安心して楽しめた」との声もいただくなど、非常に好評でした。

今後もペガサスでは、入居者さま、患者さま、地域住民、そして職員すべてが楽しめるようなイベントを企画し、地域医療に貢献しつつ、地域の健康的な生活を支え続けていきます。



## TOPICS 4 ペガサスグループ 職員運動会

### 職員運動会で スポーツの秋と食欲の秋を満喫。

秋晴れの空が広がった平成28年10月23日、ペガサスグループでは、職員運動会を開催しました。会場となったJ-GREEN堺には、職員やその家族、約280名の参加者が集まり、部署対抗のフットサルやドッジボール、子どもたちも参加する大玉転がしや二人三脚などを実施。お昼にはバイキング形式で、さまざまなごちそうが並びました。職員と家族と一緒に、スポーツで心地よい汗を流し、バイキングで舌鼓を打つ、楽しい一日となりました。

